取扱説明書

HITACHI
Inspire the Next

家庭用バイオ式生ごみ処理機
BGD-X180-1形（屋内・外設置タイプ）



このたびは家庭用バイオ式生ごみ処理機をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。
特に「安全上のご注意」は必ずお読みください。
お読みになったあとは、保証書とともに大切に保管してください。

安全上のご注意

ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

■ここに示した注記事項は

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

絵表示の例

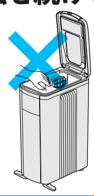
⚠	「警告や注意を促す」内容のものです。
⊘	してはいけない「禁止」内容のものです。
❗	必ず実行していただく「指示」内容のものです。

⚠ 警　告

修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造を行わない

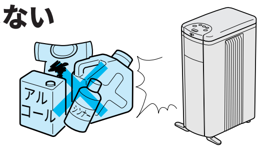
- 発火したり、異常動作してけがをすることがあります。

ふたを開けても、かくはん棒が回転を続ける場合は、直ちに使用を中止する



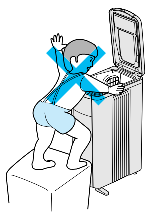
- 修理を依頼してください。
  けがの原因になります。

処理槽には、灯油、ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコールなどやそれらが付着したごみを絶対に入れたり近づけたりしない



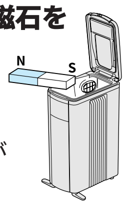
- 爆発や火災の恐れがあります。

**幼児に処理槽の中をのぞかせない
また、生ごみ処理機の近くに台を置かない**



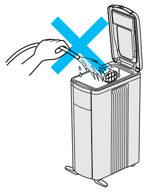
- 落ちてけがをすることがあります。

ふたを開けたとき、本体の上部に磁石を近づけない



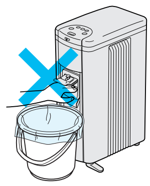
- 内部のふたスイッチが働き、かくはん棒が回転を始め、けがをする恐れがあります。

**本体各部に直接水をかけない
また、処理槽の内部は絶対に水洗いしない**



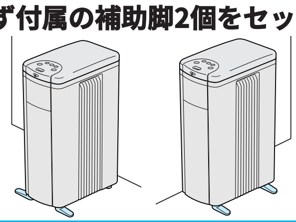
- 漏電・感電の原因になります。

古い処理物の自動取出し中は絶対に取出口の中に手などを入れない



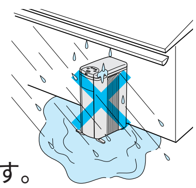
- けがの原因になります。

安定した床面に、必ず付属の補助脚2個をセットして据え付ける



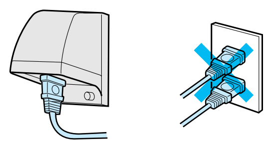
- 補助脚を付けないと転倒の恐れがあります。

屋外に据え付ける場合は、直接雨のかかる場所や、雨水がたまり水浸しになるような場所には据え付けない



- 感電や漏電による火災の恐れがあります。

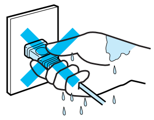
屋外に据え付ける場合は、交流100Vの防雨形コンセントを使う



- コンセントに雨水がかかると漏電の原因になります。

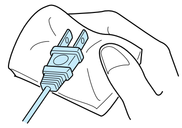
⚠ 警　告

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない



● 感電やけがをすることがあります。

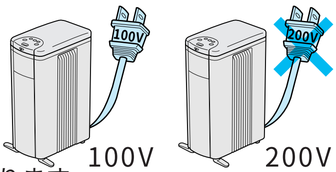
電源プラグは、刃および刃の取り付け面にほこりが付着している場合はよくふく



● 火災の原因になります。

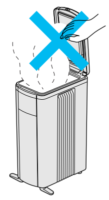
⚠ 注　意

交流100V以外では使用しない



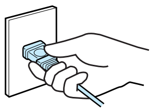
● 火災・感電の原因になります。

運転停止直後、ふたの裏や処理槽内壁が高温になっているので触らない



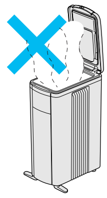
● やけどをする恐れがあります。

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜く



● 感電やショートして発火することがあります。

運転中はふたを開けない

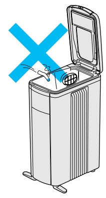


● 処理中の熱い蒸気が出るので、やけどをする恐れがあります。

電源コードを傷つけたり、破損したり、無理に曲げたり、ひっぱったり、ねじったり、たばねたりしない
また、重いものを載せたり、挟み込んだり、加工したりしない

● 電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

火気の近くに設置しない
また、火のついたたばこなどを投入しない

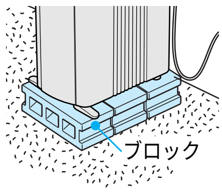


● 本体の変形によるショート・発火の原因になります。

長期間ご使用にならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く

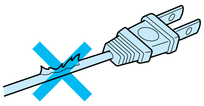
● 絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。

屋外に据え付けるときは、土や芝生の上に置かない。置く場合は、ブロックなどを敷く



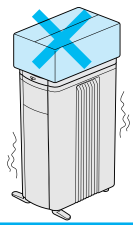
● 感電・ショート・発火の原因になります。

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない



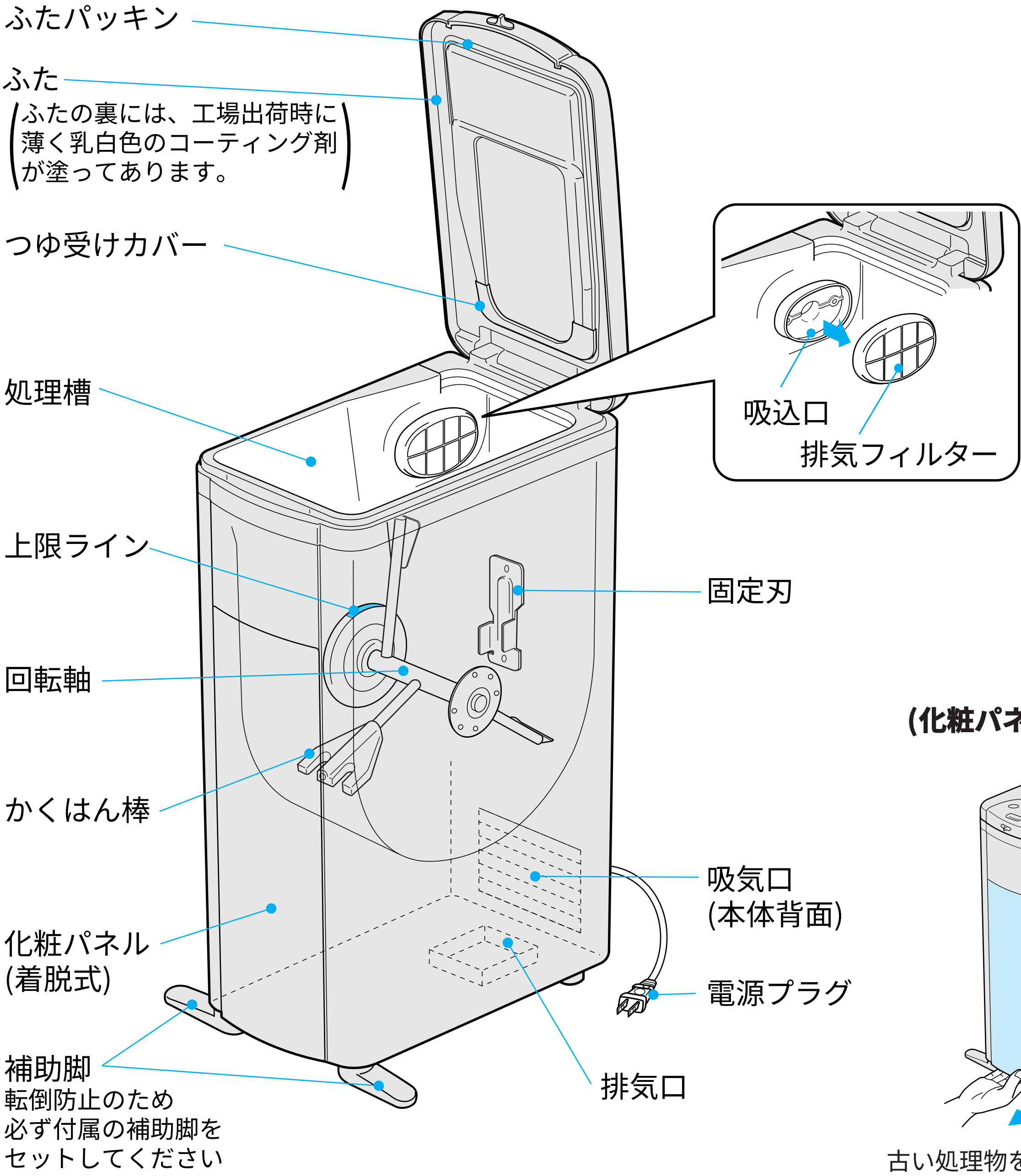
● 感電・ショート・発火の原因になります。

生ごみ処理機の上にのぼったり、重いものを載せたりしない

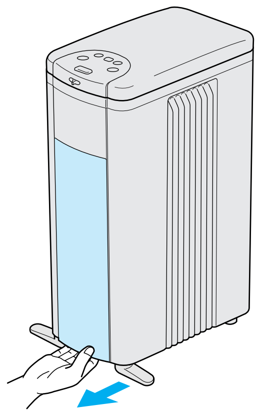


● 変形・破損・転倒によりけがをする恐れがあります。

各部のなまえ



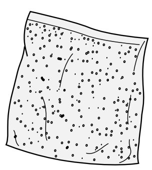
(化粧パネルを外すとき)



古い処理物を取り出すときは、下端に指をかけ、手前に引っ張ると化粧パネルが外れます。

付　属　品 (処理槽内に収納してありますので、中身を取り出してから運転の準備をしてください)

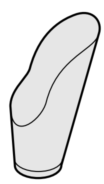
- 高温バイオ剤 1袋
(約1.5L)



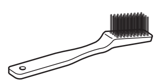
ご注意

- 製品の輸送中に、袋がやぶれて中身がもれる場合がありますが支障ありません。そのままP7の「ご使用前の準備」にかかってください。

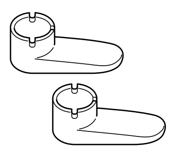
- スコップ 1個



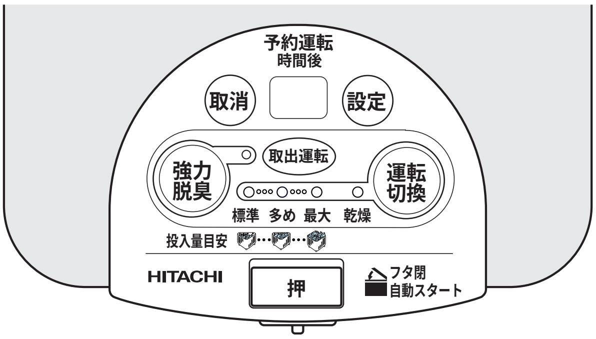
- ブラシ 1個

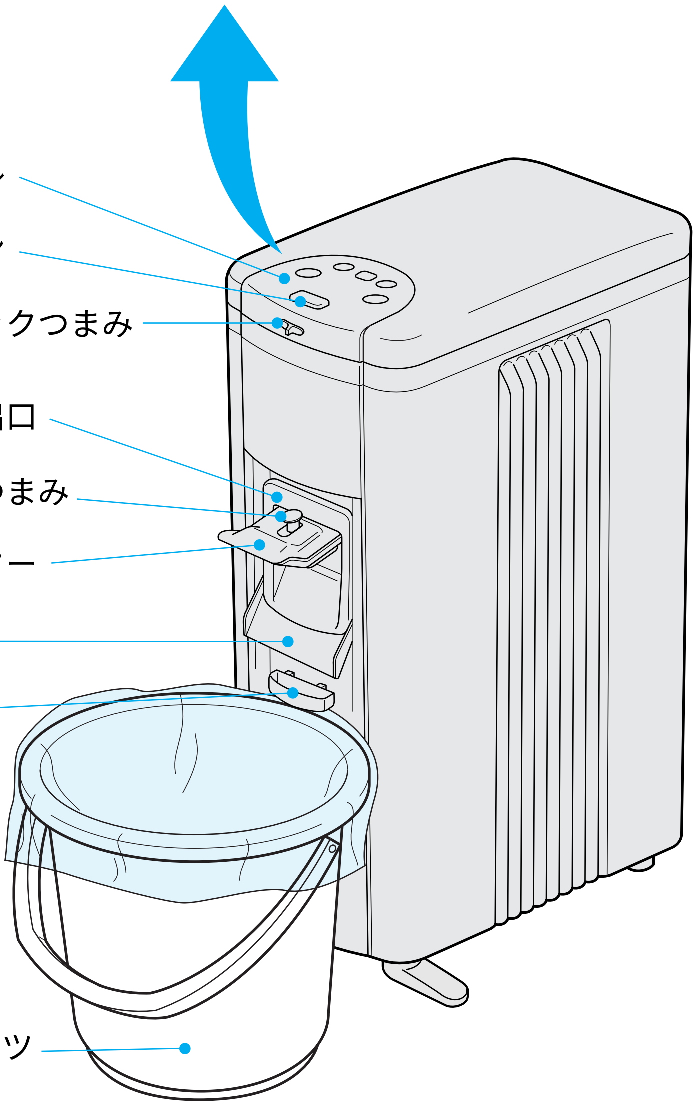


- 補助脚 2個



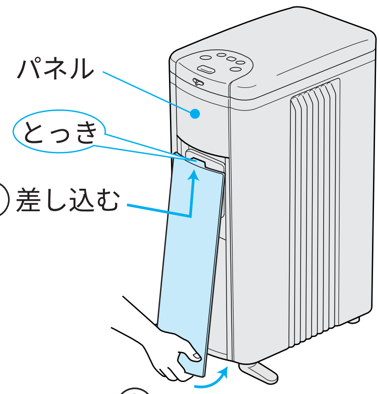
〔運転表示パネル〕 ☞10、11

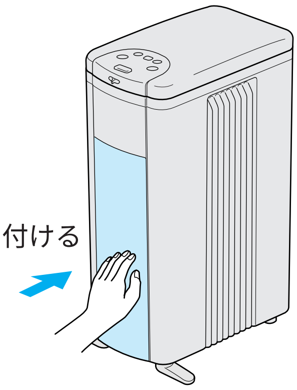




ご使用はじめの処理運転中に、オイルが焼けるようなニオイが発生しますが、故障ではありません。
脱臭装置の金属や断熱材が過熱されたとき、初期のみ発生するニオイです。
2〜3日のご使用でなくなります。
気になる場合は換気してください。

(化粧パネルを装着するとき)





化粧パネルの上端のとっきをパネルの下側に差し込み、全体を押し付けます。爪が ”パチッ ”と音がするまで押し付け、すき間がなくなるようにしてください。

運　転　内　容

- ふたを開けた状態で電源プラグをコンセントに差し込むと、ピッと鳴り「標準」ランプが点灯して通電状態となります。
- 通電状態でふたを閉めると、正転約2分、休止約30秒、逆転30秒、休止30秒のかくはんサイクルが自動的に繰り返します。
- ふたを閉めた状態で電源プラグをコンセントに差し込むと、ピッと鳴り、「標準」ランプが点灯し、表示が「00」になってから自動的にかくはん運転を開始します。
- かくはん運転中にふたを開けると、かくはん運転が休止します。
- 外気温度に応じて、保温ヒータが働きバイオ処理を助けます。
- 処理運転時間は、「標準」コースで約5時間、「多め」コースで約7.5時間、「最大」コースで約9時間、「乾燥」コースで約12時間運転になります。☞11

据え付けのしかた

据え付け場所を選ぶ

■換気扇などがある、換気のよいところに据え付けてください。
ふたを開けたときや、生ごみを処理中に多少のニオイや水蒸気が出ますので、換気が悪いと温度や湿度が高くなり、ニオイがこもることがあります。

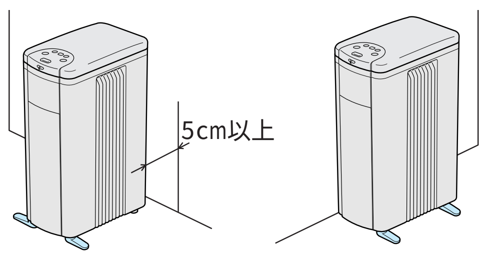
■ガスコンロや石油ストーブなどの近くには据え付けないでください。
外装部品に合成樹脂を使用しておりますので、熱変形する恐れがあります。

■背面は壁から5cm以上離してください。
排気の流れが悪くなって内部温度が上がったり、排気中の湿気などで壁が変色したりする原因になります。

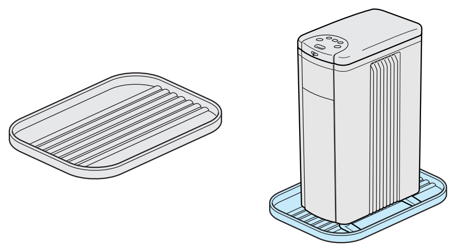
■左右どちらかの側面を開放してください。
排気や冷却の空気の流れが悪くなって、内部温度が高くなり、故障の原因になります。

据え付ける

■転倒防止のため、必ず付属の補助脚を前面の脚に2個または側面の脚に2個、装着して据え付けてください。

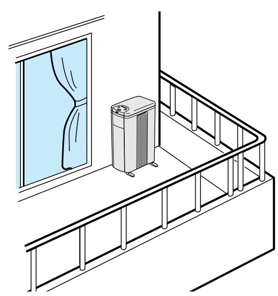


■別売りのトレイをおすすめします。
底面からの水蒸気や熱に対処します。
特にじゅうたんの上に直接設置すると、変質、変色する恐れがあります。



ベランダや軒下など屋外へ据え付ける場合

■軒下、出窓の下、勝手口の近くなど、雨ざらしにならないところを選んで据え付けてください。
感電や漏電の原因になる恐れがあります。



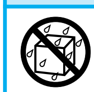
■ベランダに据え付ける場合は、本体を手すり側に据え付けないでください。
落下、転倒やお子様が踏み台にして転落する原因になる恐れがあります。

■直射日光の当たる場所は避けてください。
運転表示パネルの紫外線劣化の原因になる恐れがあります。

■強い風が吹き付けるところに据え付ける場合や、倒れる恐れがある場合は、バンドで固定してください。

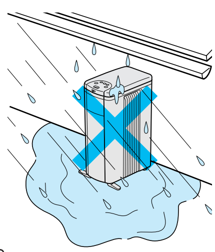
■避難器具、避難ハッチや消防隊進入の障害にならない場所に据え付けてください。

⚠ 警 告



屋外に据え付ける場合は、直接雨のかかる場所や雨水がたまり水浸しになるような場所には据え付けない

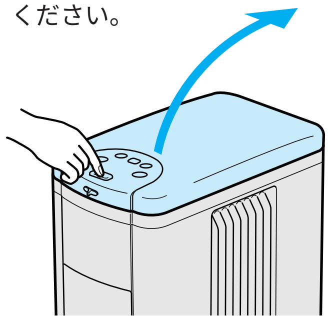
● 感電や漏電による火災の恐れがあります。



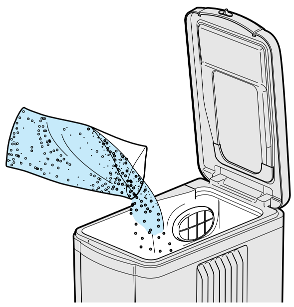
ご使用前の準備

1 ふたを開け、高温バイオ剤を入れる

①オープンボタンを押して、開けてください。

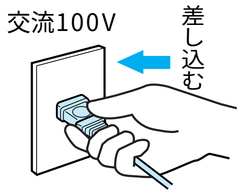


②処理槽内に収納してある付属品をすべて取り出してください。
③ポリ袋を開封して、全部入れます。(勢いよく入れると、ホコリがたちます。)



2 プラグを差し込み、ふたを閉める

①電源コードの先のプラグを差し込むと、ピッと鳴り、「標準」ランプが点灯します。

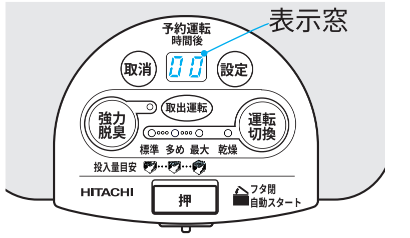


②ふたを閉めて、「カチッ」と音がするまで、しっかりと押してください。



ふたを閉めると処理運転が始まります。

3 予約時間を設定し、運転コースを選ぶ

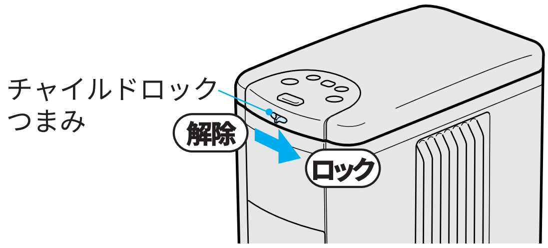


①予約を行う場合は、
運転が停止(表示窓が 00)していることを確認してください。
表示が 00 になっていないときは、取消 ボタンを押して 00 にしてください。 予約方法 ☞ 11,12

②予約をしない場合は、
表示窓が 00 の状態で、ふたを開閉すると、自動的に処理運転がスタートします。
予約をしない方法 ☞ 13

③運転コースは、
生ごみの投入量によって、運転切換 ボタンで選択してください。
運転コースの切り換え ☞ 11

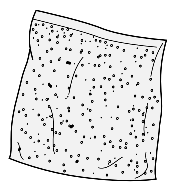
ご注意 子供、幼児が触る可能性がある場合は、「チャイルドロックつまみ」を右方向(ロック)に動かしてふたをロックしてください。
左方向(解除)に動かすとロックが解除されます。



ご注意 バイオ処理維持のため、電源プラグはコンセントに差し込んだままにしておいてください。
数日の旅行などでご使用にならない場合も、電源を入れたままで結構です。
留守対応機能が働き、自動的に最小限の維持運転に切り替わります。

■高温バイオ剤について

- コーヒーがらをベースに活性炭などを加えて加工したもので、微生物の育成に必要な「水分」「空気」「温度」などを適切に保つ微生物の住家です。
- 出荷時に、生ごみを分解するバイオ菌をあらかじめ混ぜてありますので、使用開始から分解処理が行われます。
- 開封時に、黒い粒と微粉末がよく混ざり合わず片寄っている場合がありますが、異常ではありません。そのままお使いください。



使用上のご注意

1 分別して入れる



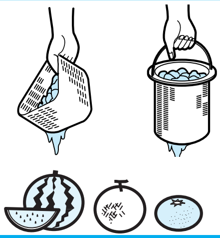
■投入できるものと、投入できないものがありますので、あらかじめ必ず分別してください。☞9

■水切りネットやポリ袋は絶対に投入しないでください。

- かくはん棒にからまって、処理運転が停止する原因になります。

お願い トウモロコシなどを原料とした、生分解性の水切りネットが市販されていますが、投入しないでください。

2 よく水切りを行う



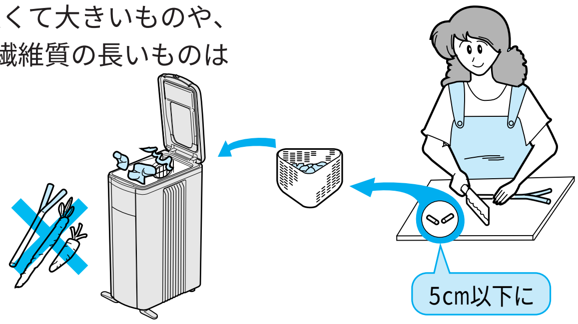
■生ごみを投入するときは、十分に水切りをしてください。

- 処理槽内の水分が多くなると、処理し切れずにべとついたり、ニオイが強くなる原因になります。
- メロン、スイカ、グレープフルーツなどの水分の多い生ごみを一度に大量に投入すると、処理物がべたつき、処理が遅くなる原因になります。

3 硬くて大きいものや長いものは小さくする

■グレープフルーツの皮、ごぼう、とうもろこしのしんなど硬くて大きいものや、とうもろこしの皮、たけのこの皮、長ねぎの白根など丈夫な繊維質の長いものは5cm以下に小さくしてください。

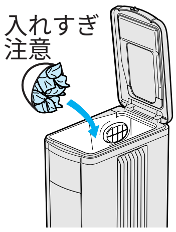
- かくはん棒の回転を妨げてかくはん異常の原因になります。



■ごはん類、めん類などでんぷん質のものは、よくほぐして入れてください。

- だんご状に固まる原因になります。

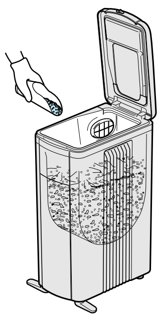
4 入れ過ぎない〔連続処理の場合最大約1.3kg/日〕



■1日に投入できる生ごみの量は、「標準」コースで0.7kg以下、「多め」コースで1.0kg以下、「最大」コースで1.3kg以下です。(「最大」コースで、週の平均投入量が一日1.3kgを超えなければ、週1回に限り1.8kgの投入が可能です。)

- 一般的な生ごみ用三角コーナーで、0.7kg は8分目、1.0kg はすりきり、1.3kg は1杯強ですので、目安にしてください。
- 毎日連続して入れ過ぎると処理し切れず、水分が多くなってべとついたり、ニオイが強くなる原因になります。
- 1日に約1.3kg以内であれば、2〜3回に分けて投入してもかまいません。

5 古い処理物の取り出しはお早めに



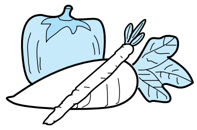
■処理槽内に古い処理物がたまってくると、土状になり、微生物が住みにくくなってべとついたり、処理槽の壁面が汚れ、固まりがへばりつくようになります。また、かくはん停止が起こりやすくなります。

- 赤い上限ラインが目安ですが、こまめに、早めに取り出してください。
- 少量の取り出しには、付属のスコップをご利用ください。

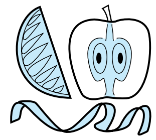
投入できるもの・投入できないもの

投入できるもの(一般的に人間が食べられるものであれば処理可能です)

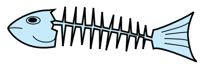
- 野菜くず



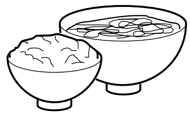
- 果物やとうもろこしの皮やしん



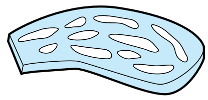
- 魚の皮や骨



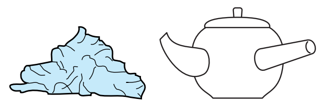
- ごはん・めん類



- 肉類

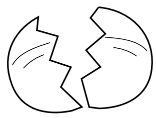


- 茶がら



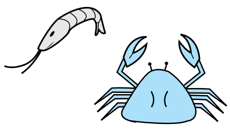
少量しか投入できないもの(1日の投入量の目安)

- 卵の殻



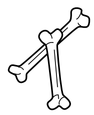
5個以下
(約50g)

- カニ、エビの殻



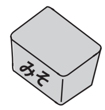
カニ：約1杯
エビ：約12匹
(約300g)

- 鶏の骨



手羽先相当
約5本以下
(約70g)

- みそや納豆など粘性のある発酵食品



おたま1杯分
(約100g)

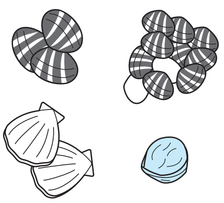
- ジャム・蜂蜜など糖分の多い粘性のある食品



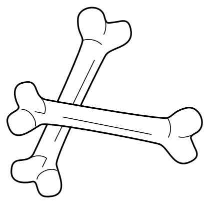
おたま1杯分
(約100g)

投入できないもの

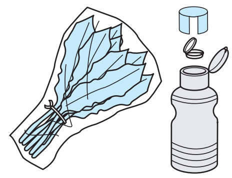
故障の原因になるもの



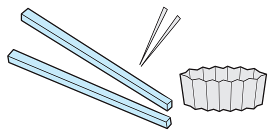
硬い貝殻や梅干しの種・クルミなど



大きな骨
(牛・豚・大きな魚など)

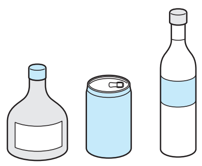


食材の包装材など
(輪ゴム・針金・中ぶた・ビニール袋など)



アルミホイルやつまようじ・割り箸など

爆発・引火の恐れがあるもの

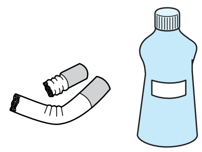


酒類
(果実酒・薬用酒を含む)

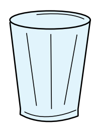


アルコール分を含む食品
調味料(みりん)や石油類など

高温バイオ菌の生育を妨げるもの



たばこ・洗剤・石けん・化粧品・シャンプー・化学薬品など



ガラス・陶磁器・金属類・プラスチックなどの化学合成物質

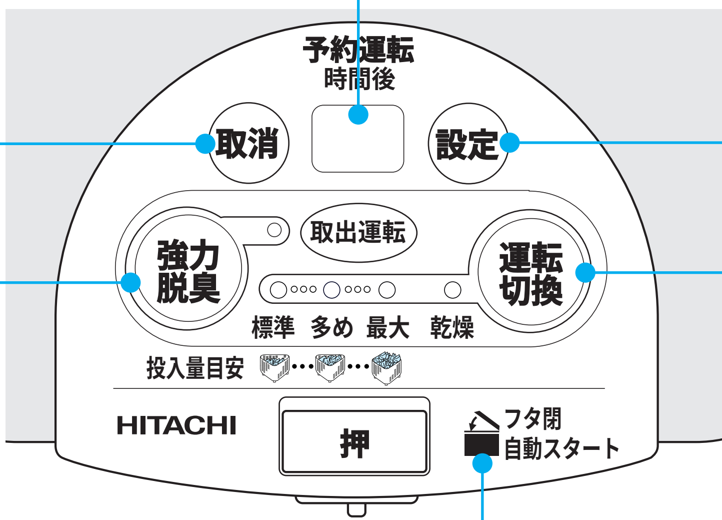
ご注意

- **牛乳、ジュース、しょうゆ、ドレッシング、味噌汁、油などは直接投入しないでください。水分が多くなり、処理がべたつく原因になります。**
- **大きくて硬い果物(パイナップルの皮など)、梅干し、桃などの種は投入しないでください。かくはん棒の回転が妨げられ、大きな音がします。**
- **揚げ物などをした後に残る油脂類、およびそれを固めたものは投入しないでください。**
- **凍らせた食品は、解凍してから投入してください。**

運転表示パネルの見かたと

■表示窓の表示内容(運転状態を表示します。)

- [00]：運転停止状態
- [01]～[20]：予約運転時間(この時間後に処理運転が始まる)
- [┤├]：処理運転中(実処理運転と冷却運転)
- [[ ]]：まぶし運転中(かくはんのみ行う)
- [JL]：古い処理物の自動取出し運転中(取出口シャッターが開いていて、かくはん棒が回転中)
- [L J]：ふたと取出口シャッターが開いている(かくはん棒は回転していない)
- [E 1]：かくはん異常で運転停止していることを示す(☞18を参照し運転できるようにする)
- [E 2]：取出口シャッターが開いているので運転不能 ☞15、18
- [E 3]：排気の異常で運転停止 ☞18
- [E 4]：脱臭装置の異常過熱で運転停止 ☞18
- [F 0]～[F 2]：故障表示(☞20修理を依頼)
- [- -]：留守対応機能



■取消

- 運転中に押すと、[00]表示となり、運転が停止します。
- 予約中に押すと、[00]表示となり、予約運転時間が取り消されます。

■強力脱臭 ☞14

- 通常は、標準脱臭で運転を行います。(処理運転中のみ)
- 万一、ニオイが気になって、強い脱臭を行いたいとき、このボタンを押します。
  一度押すとランプが点灯し、強力脱臭になります。
  もう一度押すとランプが消灯し、標準脱臭になります。

■取出運転

取出口シャッターを開くと、取出運転になります。
古い処理物を取り出すときに使います。☞14、15



予約運転しないとき(表示窓が[00]のとき)は、ふたの開閉をすると、自動的に処理運転がスタートします。

使いかた

■予約運転時間の設定

毎日の処理運転開始時間を予約するのに使用します。今から何時間後に処理運転を開始するかを設定します。

（設定）ボタンを1回押すごとに「01」から始まり「02」‥‥‥「20」時間後まで予約することができます。

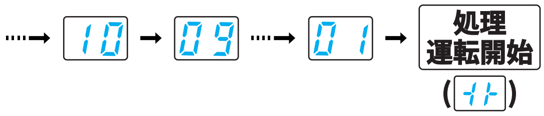
<例>午前8:00に、午後10:00に処理運転の予約をする場合

①今から処理運転を開始するまでの時間を計算します。午後10:00は14時間後です。

②（設定）ボタンで［14］を表示させます。



③これで予約設定は終了です。
以後、処理運転を開始するまでの
残時間を、1時間ごとに表示します。

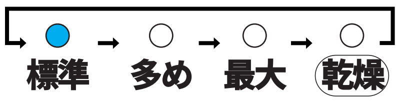


④予約した時間になると、処理運転を開始します。(→このときの表示は［-|-］)

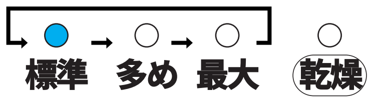
- 処理運転中(［-|-］)は、予約の設定ができません。予約運転時間を変更する場合（取消）ボタンで［00］に戻し、再設定します。12,13
- 予約運転時間を設定して、処理運転開始するまでの間は、いくらでも予約運転時間を変更することができます。
- 24時間タイマーが内蔵されていますので、一度、お好みの時間に予約すると、（取消）ボタンを押さない限り、毎日同じ時間に処理運転を行うことができます。(上記の例ですと、毎日午後10:00に処理運転を開始します。)

■運転コースの切り換え

- 運転停止中(表示が［00］)は、（運転切換）ボタンを1回押すごとに「標準」～「乾燥」に切り換わります。



- 運転中(表示が［-|-］)は、（運転切換）ボタンを1回押すごとに「標準」～「最大」まで、「乾燥」には移行できません。

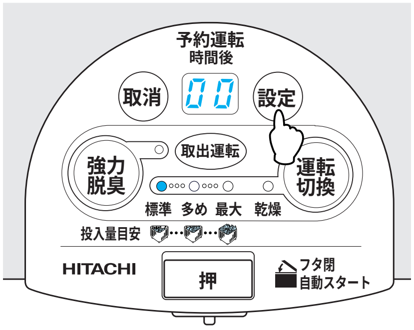


- 「乾燥」運転をするときは、（取消）ボタンを押して運転を停止(表示は［00］)して、（運転切換）ボタンを押して「乾燥」を選び、ふたを開閉してください。
- 生ごみの種類や水切りの状態によって、処理槽内の水分が多くなったり、パサパサに乾燥したりしますので、運転コースを使い分けてください。
  ※処理時間は、処理槽内を高温にして生ごみを分解処理する処理運転と処理槽内の温度を下げる冷却運転を合わせて行います。
  「標準」…生ごみ0.1～0.7kg/日(おおよそ　三角コーナー　8分目)
  　　　　処理時間は、実処理運転 約4.5時間と冷却運転 約40分です。
  「多め」…生ごみ0.7～1.0kg/日(おおよそ　三角コーナー　すりきり)
  　　　　処理時間は、実処理運転 約7時間と冷却運転 約40分です。
  「最大」…生ごみ1.0～1.3kg/日(おおよそ　三角コーナー　1杯強)
  　　　　処理時間は、実処理運転 約8.5時間と冷却運転 約40分です。
- 生ごみの処理をより効果的に行うために、5ないし6回運転させたあと、1回は自動的に1つ上の運転コース時間で処理運転を行います。
- 生ごみの量が極端に少なく、処理物が極端に乾燥し過ぎる場合は、自動的にいつもの運転時間よりも短い時間で処理が終了する場合があります。

使いかた (1)予約運転をする場合

1 運転開始時間を予約する

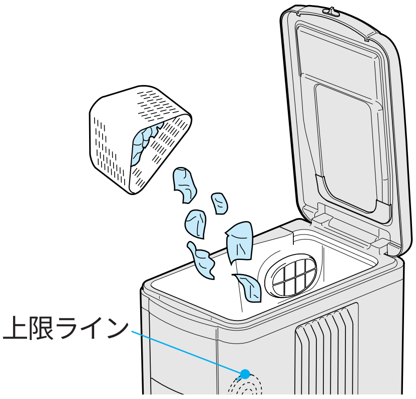
- 今から何時間後に運転を始めるか決めて、設定ボタンを押して表示窓上に時間を設定します。
- 生ごみの量に合わせて、「標準」、「多め」または「最大」を選択してください。



■予約を解除しない限り、毎日同じ時間に処理運転を行うことができます。

2 ふたを開け、生ごみを投入する

オープンボタンを押してふたを開け、生ごみを投入します。

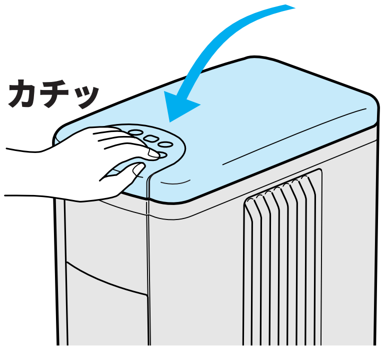


ご注意

- 古い処理物が上限ライン付近まで増えてきた場合は、古い処理物の取出し運転を行ってください。 ☞14、15

3 ふたを閉める

運転するときは、ふたを閉めて、「カチッ」と音がするまで、しっかりと押してください。

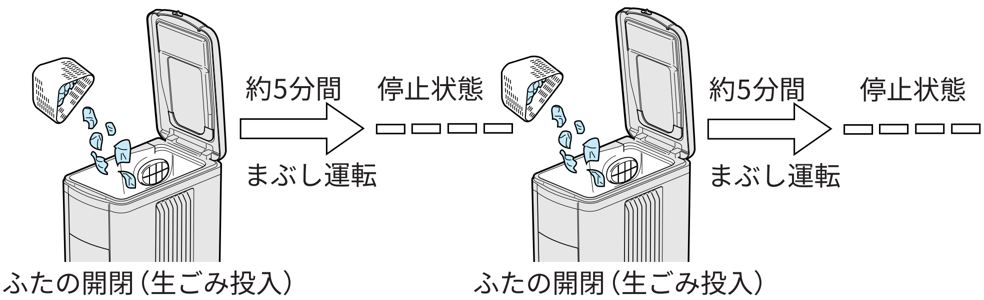


ご注意

- ふたが閉まっていないと、蒸気やニオイが広がります。
- 表示窓にE1、E2、E3、E4、F0、F1、F2の表示が出る場合は運転できません。 ☞10、18

■ご自分の生活スタイルに合わせ、1日の内でいつ処理運転するのが都合がよいのかを決めて予約すれば、毎日その時間に自動的に処理運転を開始することができます。

■予約時の処理運転が始まるまでの間は、ふたを閉める毎に5分間の「まぶし運転」になります。その間は、ごみ箱感覚で生ごみを投入できます。



予約時間になると高温処理運転開始

1日に1回のまとめ処理なので、経済的

- まぶし運転とは、高温バイオ剤と新しい生ごみを混ぜ合わせる工程です。バイオ菌が生ごみを処理しやすいようにするのと、ニオイの拡散防止のために行います。この間は、かくはん棒の回転のみ行い、処理運転は行いません。

■処理運転を始めると、自動的に脱臭運転も始まります。ニオイが気になる場合は、強力脱臭を設定してください。☞14
5分間のまぶし運転中は、生ごみの分解処理を行わずかくはん棒の回転のみで、脱臭運転を行いません。

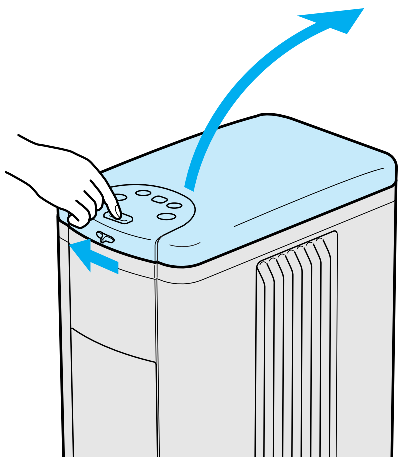
■運転コースは、（運転切換）ボタンで一度選択すると、毎回同じコースで処理運転を行います。生ごみの量によって、運転コースを選んでください。

使いかた (2)予約なしですぐ使う場合

(表示窓は 00 になっていることを確認してください)

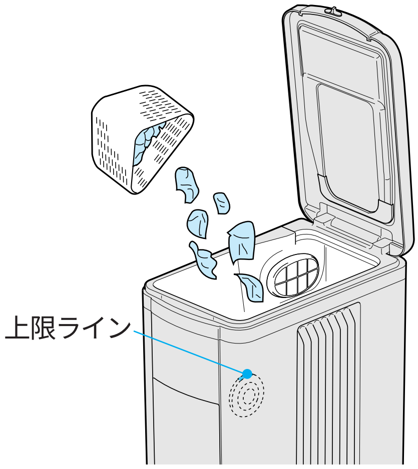
1 ふたを開ける

オープンボタンを押してふたを開けます。



- 表示窓が 00 になっていないときは、取消 ボタンを押して 00 にしてから、ふたを開けてください。

2 生ごみを投入する

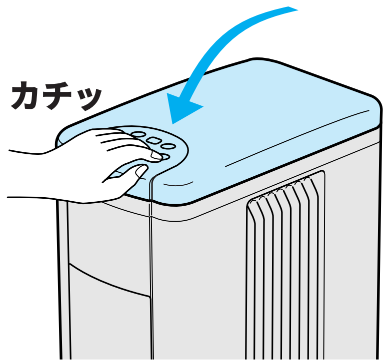


ご注意

- 古い処理物が上限ライン付近まで増えてきた場合は、古い処理物の取出し運転を行ってください。 ☞ 14、15

3 ふたを閉めて運転する

運転するときは、ふたを閉めて、「カチッ」と音がするまで、しっかりと押してください。



ご注意

- ふたが閉まっていないと、蒸気やニオイが広がります。
- 表示窓にE1、E2、E3、E4、F0、F1、F2の表示が出る場合は運転できません。 ☞ 10、18

■生ごみの処理が終了したあと、ときどき中の処理状態をチェックしてください。

- 古い処理物が水っぽくべとべとした状態のときは、「乾燥」にして、中の古い処理物をさらさらにしてください。
- いつもべたつきやすい場合は、「多め」または「最大」に合わせて処理運転を行うようにしてください。

■処理運転中にふたを開けると、蒸気やニオイが広がりますので、途中でふたを開けないでください。

■使用とともに、処理槽内が汚れてきます。気になる場合は掃除をしてください。 ☞ 16、17

■処理運転が終了したあと、ふたの裏や処理槽上部が結露していますが、問題はありません。
気になる場合は、ふきんなどでふいてください。このとき、排気フィルターが汚れている場合は、ブラシで掃除してください。 ☞ 16、17

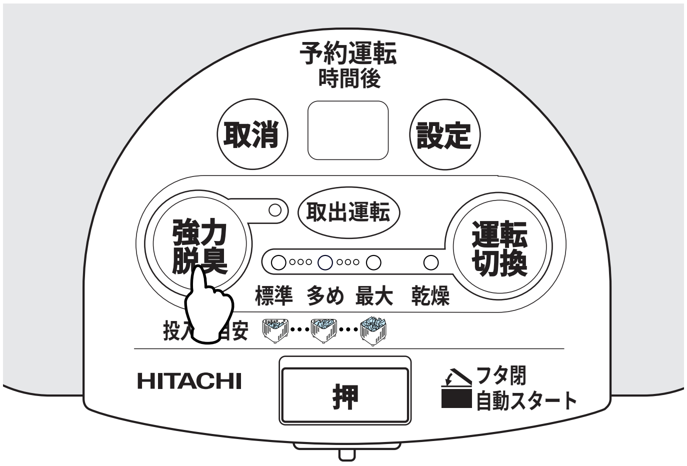
■毎日生ごみを処理していくと、古い処理物が増えてきます。
古い処理物が上限ライン付近まで増えてきた場合は、自動取出しを行ってください。 ☞ 14、15

ご注意

- **予約運転をする、しないに関わらず、処理運転途中でふたを開閉すると、その時点からセットした運転コース(「標準」「多め」「最大」)の運転時間で運転が再度行われます。**

強力脱臭運転 ー
(ニオイが気になるとき)

1 強力脱臭運転を開始する場合、「強力脱臭」ボタンを押す



- 通常は、「標準脱臭」運転を行います。
- 万一、ニオイが気になるときは （強力脱臭） ボタンを押して、「強力脱臭」にしてください。
  「強力脱臭」にすると、ランプが点灯します。

ご注意

- 脱臭運転は、処理槽から出る排気のニオイを取る働きをするもので、ふたを開けたときに感じる、処理槽内の処理物や生ごみのニオイを取るものではありません。

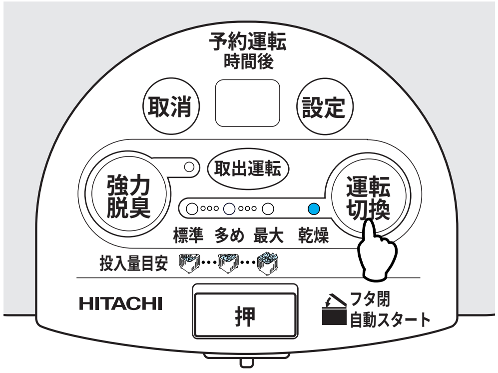
- ニオイの成分の種類や濃度によっては、脱臭運転してもニオイが完全に取れない場合があります。例えば、多量の魚介類や残飯などを投入したときの強いニオイは、取り切れない場合があります。
  この場合は別売りの高温バイオ剤を使用して最初からやり直してください。☞ 7、24

- ご使用はじめの処理運転中に、オイルが焼けるようなニオイが発生しますが、故障ではありません。
  脱臭装置の金属や断熱材が加熱されたとき、初期のみ発生するニオイです。2～3日のご使用でなくなります。
  気になる場合は換気してください。

- ごはん類やめん類などのでんぷん質を一度に多く入れると、強いニオイが出る原因になります。

古い処理
(上限ラインに達したら

1 取出す前に「乾燥」運転を行う



① （取消） ボタンを押して表示を 00 にする。

② （運転切換） ボタンで「乾燥」に切り換える。

③ ふたの開閉を行う。

これで約12時間の乾燥運転が始まります。

ご注意

必ずふたの開閉を行ってください。ふたを開閉しないと、乾燥運転が始まりません。

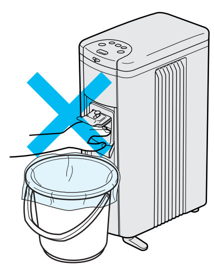
■処理槽内の古い処理物の状態がさらさらのときは､「乾燥運転」の必要はありません。このまま自動取出しを行ってください。

■1回の「乾燥」運転後、処理槽内の古い処理物がまださらさらしていないときは、もう一度「乾燥」運転を行ってください。

⚠ 警 告



古い処理物の自動取出し中は絶対に取出口の中に手などを入れないでください。
- けがの原因になります。



物の自動取出し

自動取出しを行う)

2 ポリバケツを用意し、取出口のシャッターを開く

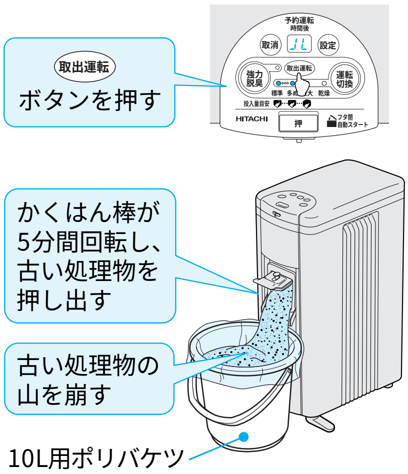
- 化粧パネルを外す。



取出口ロックつまみを引上げてロックを外し、シャッターが止まる位置まで開く

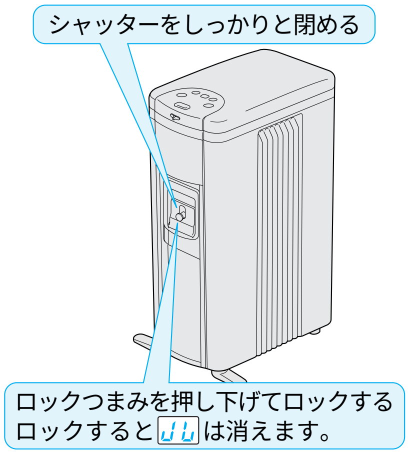
- シャッターのロックが外れると、表示は JL を示します。☞10

3 「取出運転」ボタンを押す



- 取出し中の表示は JL で点滅します。

4 シャッターを閉じ、化粧パネルをセットする

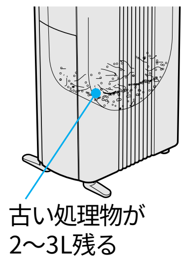


ご注意

- シャッターを正しくロックしないと運転できないばかりか、古い処理物がもれて、床を汚す原因になります。

■自動取出し運転は、約5分間行われます。取出しを終了するとブザーが鳴って止まります。

■自動取出し後、処理槽内には約2Lの処理物が残るように設定されています。
これは次の処理のための高温バイオ菌を残すためです。



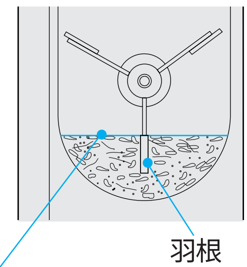
■自動取出しを途中で止めたいときは

(1)ふたを開けます。(→このときの表示は L J) 閉じると残りの時間だけ運転します。

(2) (取出運転) ボタンを押します。ピッとブザーが鳴って止まります。

再び押すとピッとブザーが鳴って残りの時間だけ運転します。

■古い処理物の状態によって、押し出されるスピードが異なります。
1回の自動取出しで古い処理物が出し切れず、残り量が多い場合(約3L以上)は、もう1度自動取出しを繰り返してください。



(中央のかくはん棒を真下にしたとき、羽根がかくれるくらい処理物があるときは、残りの量が多いと判断する。)

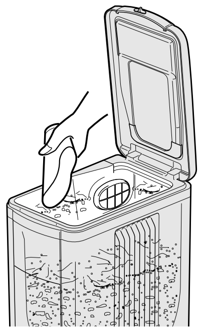
■自動取出し中に、取出口につもった古い処理物の山をスコップで崩してください。
山につかえてスムーズに排出できません。
また、ポリバケツから溢れて、床にこぼれる原因になります。



お手入れ

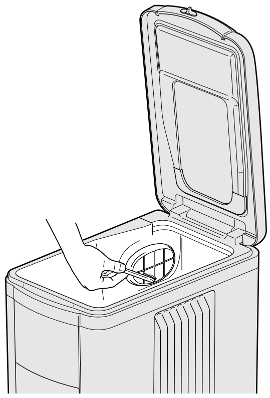
処理槽内面の汚れ落とし

■毎日生ごみを処理していくと、処理槽の内面に古い処理物がこびりつきます。
このようなときは、付属のスコップでかき落としてください。
時間が経つと、固まって落としにくくなりますので、こまめにかき落としてください。
へら状のものがあれば、かき落とし作業が楽になります。



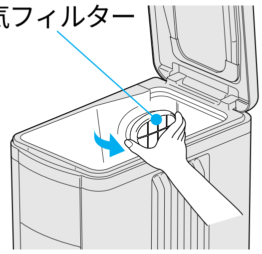
排気フィルターのお手入れ

■排気フィルターが、粉状のほこりや古い処理物のほこりで目詰まりしますと、処理運転中の蒸気やガス成分の排気性能が低下し、べたつきやニオイが強くなる原因になります。
こまめに掃除してください。



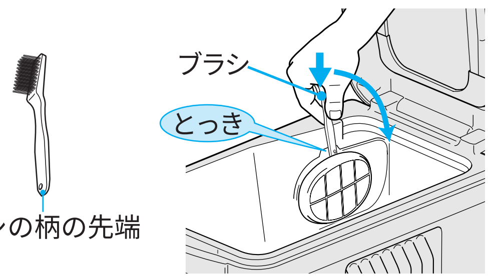
(1)軽いほこりの付着は、排気フィルターを外さずに付属のブラシで掃除します。

(2)古い処理物が排気フィルターにこびりついたり、ほこりがべったりと付着したときは



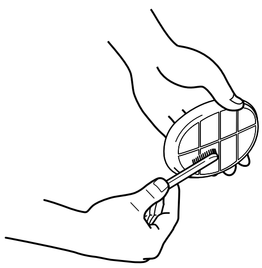
①排気フィルターを矢印のように手前にスライドさせて取り外してください。

- 万一、取り外しにくい場合は、右図のように付属のブラシの柄の先端をとっき部に挿入して、手前に倒して外してください。
付属のブラシで外しにくい場合は、マイナスドライバーなどをご利用ください。



②排気フィルターを掃除します。
- 付属のブラシなどで落とすか、汚れのひどいときは水洗いをします。

③元通りにセットします。



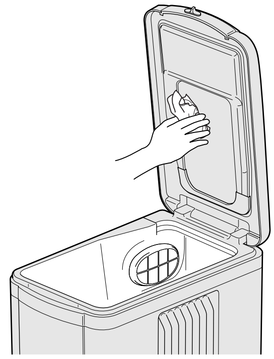
ご注意
- 排気フィルターは必ず取り付けてください。

処理槽上面の汚れ、水滴のお手入れ

■毎日生ごみを処理していくと、処理槽上面がこぼれた生ごみなどで汚れてきます。
処理槽内の蒸気やニオイの漏れを防ぐパッキンの働きを低下させる原因になりますので、付属のブラシやティッシュペーパー、やわらかい布などで掃除してください。



■冬の寒いときは、ふたの裏に結露による水滴が付着し、こぼれ落ちて処理槽の上面やふたの下側にたまります。気になるかたは、ティッシュペーパー、やわらかい布などでふき取ってください。



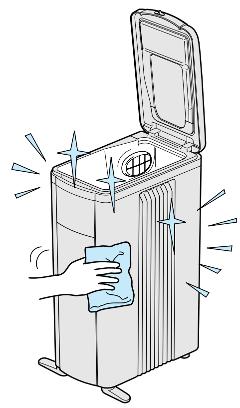
処理槽内、処理物の量の調節

■処理物が増えると、内面の汚れや処理物のべたつき、またはかくはん停止の原因になります。
古い処理物が、目安となる上限ライン付近まで増えてきたときは、取り出してください。☞14､15

- 自動取出しする前に、「乾燥」運転を行うと、自動取出しがしやすく、また、取り出した処理物が保管しやすくなります。
- 少量の場合は、付属のスコップで取り出してください。

本体のお手入れ

■本体の汚れは、水または中性洗剤を含ませたやわらかい布でふき取ってください。



ご注意

- 乾いた布やブラシ、たわしなどでこすったり、クレンザー、ワックスなどで磨いたりしないでください。光沢をなくし、変色する原因になります。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。

⚠ 警告

処理槽の中に手を入れるときは、必ず電源プラグを抜く。また、ぬれた手で抜き差ししない。
- 感電やけがをすることがあります。

本体各部に直接水をかけない。また、処理槽の内部は絶対に水洗いしない。
- 感電や漏電による火災の恐れがあります。

その他　お知らせ

留守対応機能について

(→このときの表示は [- -] ☞10)

- 3日以上ふたを開閉しない場合は、自動的に留守対応機能が働き、留守運転を行います。
  2日に1回、2時間だけ処理運転を行います。
- ふたを開閉すると、通常通りの運転になり、生ごみを投入することができます。
- 「予約」運転して使用していた場合は、ふたを開閉すると以前設定していた時間で処理運転を行うことができます。

運転表示窓にこの表示が出て点滅したときは

運転表示窓の表示内容	処置のしかた		
[E 1]が点滅	かくはん異常で運転が停止していることを示します。	←	処理槽の奥側にある固定刃付近に硬い物が当たって、かくはん棒の回転が妨げられて起こります。この原因を取り除く必要があります。
[E 2]が点滅	取出口シャッターが10分以上開いているので運転不能です。	←	取出口シャッターを閉じて、ロックつまみを押し下げて確実にロックしてください。☞15、20
[E 3]が点滅	排気系統の異常で運転不能です。	←	排気フィルターが目詰りしていないかチェックしてください。排気口から風が出ているかチェックしてください。☞16、20
[E 4]が点滅	脱臭装置が異常過熱で運転不能です。	←	アルコール類を含んだ生ごみを処理しませんでしたか。☞20
[F 0]が点滅	保温ヒータ異常です。	←	使用を中止して、修理を依頼してください。☞20
[F 1]が点滅	脱臭運転異常です。	←	使用を中止して、修理を依頼してください。☞20
[F 2]が点滅	保温ヒーター用の温度ヒューズ異常です。	←	使用を中止して、修理を依頼してください。☞20

[E 1]～[E 4]が表示されてから、再度処理運転を行うときは、2回ふたの開閉を行ってください。1回ふたの開閉を行うと、表示窓は [0 0] になります。もう1回ふたを開閉すると [-|-|-] になり、処理運転が開始されます。
[F 0]～[F 2]が表示された場合は、ふたを開閉しても表示が解除されません。
使用を中止して、修理を依頼してください。☞20

[E 1]が点滅したときの処置のしかた

■作業はけが防止のため手袋をご使用ください。

① ポリバケツと付属のスコップを用意します。

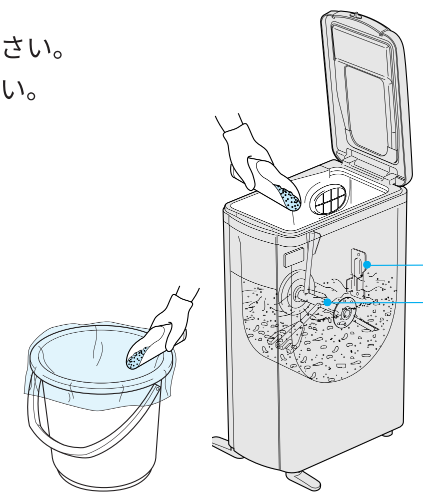
② 電源プラグを抜いてください。([E 1]の表示が消えます)
次に、スコップで古い処理物を回転軸より低くなるまで取り出してください。
そして、固定刃付近に硬い物が挟まっている場合は、取り除いてください。

③ ふたを閉めて、電源プラグを差し込みます。

④ 処理運転 [-|-|-] が始まります。

⑤ しばらくして、再び [E 1]を表示した場合は、まだ回転を妨げる物が完全に取り除かれていないので、もう一度作業を繰り返して、古い処理物を取り出してください。

⑥ 取り出した古い処理物は、有機肥料として利用するか、可燃ごみとして出してください。



取り出した古い処理物を有機肥料として利用する方法

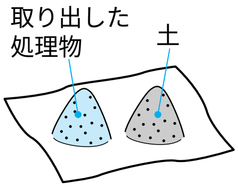
有機肥料（堆肥）として再利用する場合は以下の手順に従ってください。取り出した処理物は、そのままでは有機肥料（堆肥）として利用できません。

お願い

■処理物がべたついているときは、乾燥運転を行い、さらさらにしてから取り出してください。

1　土と混ぜて利用する場合

(1)取り出した処理物と土を、おおよそ1：1の割合で混ぜ合わせます。



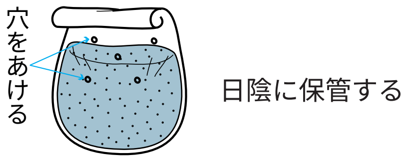
(2)湿らす程度に、じょうろで水をかけます。



ご注意

水をかけすぎて、べとつかせるとニオイの原因となります。必ず、かるく湿らせる程度にしてください。

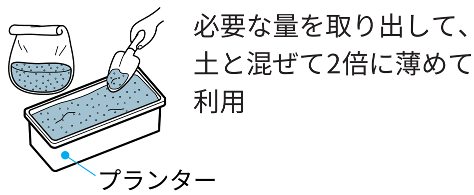
(3)ビニール袋に入れ、雨ざらしにならない日陰で風通しのよい場所に、約1～2ヶ月保管します。



ご注意

古い処理物を雨にさらしたり、水をかけすぎると、汚泥状になり、未分解の有機物が腐敗して、強いニオイがしたり虫が湧いたりします。
このような不快な状態になった場合は、土と混ぜて水分を調整して保管するか、燃えるごみとして廃棄してください。

(4)利用するときは、必要な量を取り出して土に混ぜて、2倍に薄めて利用します。

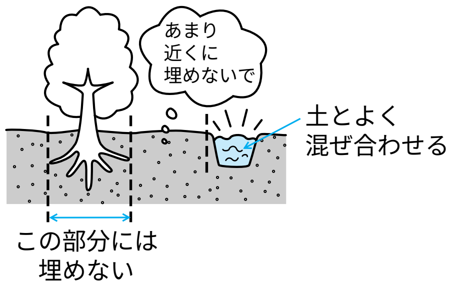


■保管中に白いカビがはえてくる場合があります。白いカビは堆肥へ分解される過程で生じるものですので問題ありません。保管中に時々よく混ぜると分解が早くなります。

■未熟の処理物のままで植物に与えますと、土壌中で植物に有害なガスの発生、植物必須成分である窒素の欠乏、植物に有害な病原菌の増殖などで、植物の発芽や生育が阻害される場合がありますので、正しくご利用ください。

2　直接庭などに埋める場合

植物の根付近を避けて埋めてください。
根ぐされなどで植物が枯れる恐れがあります。



■有機肥料として利用しない場合

可燃ごみとして廃棄処分してください。

お願い

■古い処理物からできた有機肥料（堆肥）は、弱酸性です。植物に合った土づくりや肥料づくりをすることをおすすめします。

故障かなと思ったら

修理を依頼される前に　次の点をもう一度お調べください

症　状	調べるところ	直しかた
電源プラグをコンセントに差し込んでもかくはん運転しない	●電源プラグはきちんと差し込まれていますか。 ●ふたはきちんと閉まっていますか。 ●取出口シャッターはロックしていますか。 （表示窓の表示が JL になっていませんか。）	●電源プラグをしっかり差し込んでください。 ●ふたを「カチッ」と音がするまでしっかりと閉めてください。 ●取出口シャッターのロックをしてください。 正しくロックすると JL は消えます。☞15
表示窓の表示で E1 が点滅している	●ふたを開けるとブザーが鳴りませんか。	●ブザーが鳴っているときはかくはん停止です。 スコップなどで原因物を取り除いてください。☞18
表示窓の表示で E2 が点滅している	●ふたの開閉に関係なくブザーが鳴りませんでしたか。	●ブザーが鳴っているときは、取出口シャッターを閉じて、ロックつまみを押し下げて、確実にロックしてください。☞15､18
表示窓の表示で E3 が点滅している	●ふたを開けるとブザーが鳴りませんか。	●ブザーが鳴っているときは、排気フィルターが目詰りしていないかチェックしてください。 排気口から風が出ているかチェックしてください。 再度処理運転させて、再び表示が出たら、使用を中止して修理を依頼してください。☞16, 18
表示窓の表示で E4 が点滅している	●ふたを開けるとブザーが鳴りませんか。	●ブザーが鳴っているときは、アルコール類を含んだ食品を入れませんでしたか。 再度処理運転させて、再び表示が出たら、使用を中止して修理を依頼してください。☞18
表示窓の表示で F0 が点滅している	●ふたを開けるとブザーが鳴りませんか。	●ブザーが鳴っているときは保温ヒータ異常です。 使用を中止して修理を依頼してください。☞18
表示窓の表示で F1 が点滅している	●ふたを開けるとブザーが鳴りませんか。	●ブザーが鳴っているときは脱臭異常です。 使用を中止して修理を依頼してください。☞18
表示窓の表示で F2 が点滅している	●ふたを開けるとブザーが鳴りませんか。	●ブザーが鳴っているときは保温ヒーター用の温度ヒューズ異常です。使用を中止して修理を依頼してください。☞18
ニオイが強い	●使い始めですか。 ●処理槽内がべたついていませんか。	●使い始めに脱臭装置から焦げたようなニオイがする場合があります。異常ではありません。 ●水分が過剰な状態です。 「乾燥」に合わせて、古い処理物をさらさらにしてください。 排気フィルターが汚れている場合は、掃除してください。☞16､17

症　状	調べるところ	直しかた
ニオイが強い	●ニオイの強い生ごみを投入しませんでしたか。 ●処理槽の上面やふたパッキンにごみが付着していませんか。 ●据え付け場所の通気が悪くありませんか。	●処理槽内の古い処理物に強いニオイがついています。自動取出しで古い処理物を取り出してください。☞14、15 ●ごみを取り除いてください。☞16、17 ●蒸気やニオイがこもっています。ときどき換気してください。 ●据え付け場所を移動してください。☞6
ふたを開けると蒸気が出る	●処理運転中にふたを開けませんでしたか。	●約80℃の高温処理運転を行っているため、途中でふたを開けると熱い蒸気やニオイが広がります。運転中はふたを開けないでください。
処理槽の内壁に基材がこびりついたり、汚れる	●生ごみの投入量は守っていますか。 ●古い処理物が増えていませんか。	●使用とともに多少処理槽内が汚れてきます。気になる場合は掃除をしてください。異常ではありません。☞16、17 ●生ごみの投入量を守ってください。☞11 ●上限ライン付近に達したら必ず自動取出しを行ってください。☞14、15
異常音が出る	●処理槽内に大きな生ごみや硬い生ごみが入っていませんか。	●取り除いてください。 ●かくはん棒と固定刃の間で生ごみを破砕させるため、多少「ゴトン」という音が出ることがありますが故障ではありません。 ●硬い梅干しの種や桃の種が入ると大きな音がする場合がありますので投入しないでください。
処理槽内の古い処理物がべたついてきた	●きちんと生ごみの水を切っていますか。 ●投入する生ごみ量が多くないですか。 ●排気フィルターが目詰まりしていませんか。	●水をよく切って投入してください。 ●「乾燥」に合わせて、乾燥運転を行ったあと、生ごみの投入量を守ってください。1.3kg/日が限界です。 ●「標準」で運転している場合は、「多め」または「最大」運転に切り換えてください。☞11、13 ●排気フィルターを掃除してください。☞16、17
運転中の騒音が大きい	●床がひびいていませんか。	●床面と共振する場合があります。別売りのクッションゴム脚を利用してみてください。☞24

●上記以外の異常がある場合は、使用を中止して修理を依頼してください。

保証とアフターサービス（必ずお読みください）

保証書（別添）

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのあと、大切に保存してください。

保証期間
お買い上げの日から1年です。

補修用性能部品の保有期間

当社は、この生ごみ処理機の補修用性能部品を製造打ち切り後6年間保有しています。
補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または「一般ご相談窓口」☞23 にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは　出張修理

20～21ページに従って調べていただき、なお異常のあるときは、ご使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理して使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品　　名	家庭用バイオ式生ごみ処理機
形　　式	BGD-X180
お買い上げ日	年　　月　　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご　住　所	付近の目印なども併せてお知らせください。
お　名　前	
電話番号	
訪問ご希望日	

修理料金のしくみ

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器などの設備費、一般管理費などが含まれます。

＋

部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。

＋

出張料	商品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

愛情点検

★長年ご使用の生ごみ処理機の点検を

ご使用の際、このような症状はありませんか？

- 電源プラグをコンセントに入れても時々運転しないことがある。
- コードを折り曲げると、通電したり、しなかったりする。
- 運転中、異常な音がする。
- 本体ケースが変形していたり、異常に熱い。
- 焦げた“におい”がする。
- 本体に触るとビリビリ電気を感じる。
- その他、異常・故障があるとき。

→ **ご使用中止**

このような症状のときは、故障や事故防止のため、コンセントから電源プラグを抜いて必ず販売店に点検・修理をご相談ください。

日立家電品についてのご相談や修理はお買い上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

修理などアフターサービスに関するご相談は	商品情報やお取り扱いについてのご相談は
TEL 0120-3121-68 FAX 0120-3121-87	TEL 0120-3121-11 FAX 0120-3121-34

一般ご相談窓口　家電品についてのご意見やご要望は各地区の**お客様相談センターへ**

担当地域	電話番号	所　在　地
北海道地区	011-833-5088	札幌市白石区東札幌2条4-1-10
東北地区	022-232-5088	仙台市宮城野区扇町1-1-45
関東・甲信越地区	03-3834-8588	台東区東上野2-7-5（日立家電上野ビル）
中部地区	052-795-5088	名古屋市守山区川宮町55（日立家電守山ビル）
関西地区	078-431-5088	神戸市東灘区甲南町1-3-8
中国地区	082-231-5088	広島市西区観音新町1-7-17
四国地区	0877-47-1088	坂出市林田町4285-143
九州・沖縄地区	092-281-5088	福岡市博多区店屋町7-18（博多渡辺ビル）

● ご相談窓口の名称、所在地等は変更になることがありますのでご了承ください。

仕様

形名	BGD-X180-1
電源	AC100V　50/60Hz共用
定格消費電力	最大 490W
外形寸法	幅218 × 奥行375 × 高さ590mm
質量	本体　約11kg
最大処理量	約1.3kg/1日（週1回1.8kg）
周囲温度	−10℃〜40℃

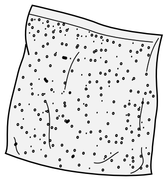
別売り部品

日立の家電品取扱店でお求めください。

■高温バイオ剤(BG-CX20) (1袋 約1.5L)

当社指定の高温バイオ剤以外をご使用になった場合は、生ごみ処理機の性能、品質など保証できませんのでご留意ください。

- 子供の手が届かない場所・直射日光の当たらない場所に保存してください。



希望小売価格 1,680円 (税抜 1,600円)

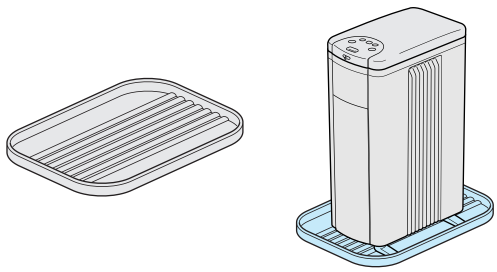
■トレイ(BG-T1)

- 生ごみを処理したときに発生する本体底面からの水蒸気や熱を直接床面に接触させません。
  また、床面がじゅうたんなどの場合、排気による変質・変色を抑制することができます。

ご注意

梱包袋から取り出したときに、多少歪んでいるものがあります。

保管・輸送中にできる軽い変形であり、床面に置いたときには水平になりますので、使用上にさしつかえありませんので、そのままご使用ください。



希望小売価格 1,785円 (税抜 1,700円)

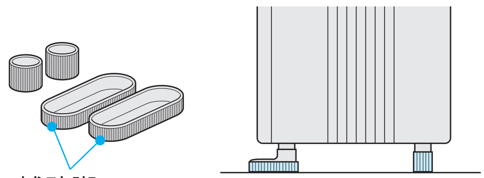
■クッションゴム脚(BG-GF1)

本体脚用・・・・・2個
補助脚用・・・・・2個

- 生ごみ処理機を運転すると、内部の回転機構部において発生する振動が、本体底部の脚部を通じて、据え付け場所の床面に伝わります。床の構造によっては共振して騒音が大きくなる場合があります。このとき「クッションゴム脚」を用いると、騒音を軽減することができます。

ご注意

- コンクリートなどの硬い丈夫な床構造においては、騒音低減の効果がでない場合があります。



希望小売価格 1,260円 (税抜 1,200円)

価格は、2004年11月現在の消費税率を基に総額表示を行ってます。

日立 ホーム＆ライフソリューション株式会社
〒105-8410　東京都港区西新橋2-15-12
電話 (03)3502-2111

株式会社 日立空調システム
〒101-0041　東京都千代田区神田須田町1-23-2
電話 (03)3255-7271